



このQRコードにア
クセスしますと本校
HPをご覧ください
ます。

令和7年9月30日
発行責任者
校長 小野 一豊
電話 26-3905

☆ 令和7年度の前半が終了 ☆

本日、子どもたちに前期の通知表を渡しました。

この半年間の子どもたちの伸びやがんばったことをご家庭で確認し、がんばりをほめてあげてください。



各月のハイライト行事を並べてみました。様々な行事や授業をとおして、子どもたちは着実に経験を重ね成長してきていることを確信しています。

本物や実体験に勝るものはありません。本で読んで分かったつもり、インターネットで調べて知識として知っていたつもりでも、いざやってみるとうまくいかないこと・思ったとおりにいかないことは、この世の中いくらでもあるものです。だからこそ、やる気を失わないで何度も何度もくじけずチャレンジし続ける姿を認め、ほめまくることで、子どもたちの成長を見守り続けたいと思います。

◆◆ 校長室より ◆◆

私が教頭時代のある体験です。

その日は、ゴールデンウィークに入る前日でした。午後7時を前に「先生方、明日からGWです。そろそろ閉めませんか？」と声をかけ、帰り支度をしていると、電話が鳴りました。

ある保護者からでした。「子どもが帰ってこないんです。」電話の内容を職員室に残っていた数名の先生方に話すと「じゃあ、私〇〇方面見てきます。」「ぼくは、△△へ。」と言って快く探しに行ってくださいました。

私は、帰宅していた担任や校長、警察に電話をして見つかった場合に備えて司令部として学校に残りました。担任は、「では、すぐにご自宅へ伺ってみます。」と出動してくれました。（ご自宅で夕食の準備をしていました。）1時間ほど経った頃、警察の方から「見つかりました。〇〇コンビニにいました。」と連絡が入りました。子どもを自宅まで届け、全員の先生が戻ってきた時は9時近くになっていました。

この30年余りの勤務の中で学校の先生は、善意の塊のような方が多いと感じています。子どもがいなくなったと相談があれば搜索します。「それは、警察のすることですから。」と見捨てることなどしないでしょう。でも、人を探さずプロはやっぱ警察なんだなと感じました。夜7時近くまで子どもが帰宅しないのに放っておいたことにも疑問が残ります。もう少し早い時間・明るい時間に言ってもらえたらという気持ちもありました。これから、「秋の日はつるべ落とし」のことわざのとおり、日はどんどん短くなっていきます。暗くなる前の早めの帰宅を促していきたいものですね。